



七尾線への新しい車両の導入と I C O C Aサービスの開始について

2019.9.10

新しい車両の概要

- 形式
5 2 1 系
- ご利用線区
七尾線 津幡～七尾駅間
※IRいしかわ鉄道（金沢～津幡）も含む
- 投入車両数
3 0 両（2 両編成× 1 5 本）
- 導入時期
2 0 2 0 年秋頃から順次投入予定



エクステリアデザイン

- これまでの北陸本線で運用している5 2 1 系車両のデザインを継承
- 現在七尾線を運行している4 1 3 系及び4 1 5 系と同じ車体色であり、輪島の漆塗りを連想させる「茜色」をラインカラーとして採用

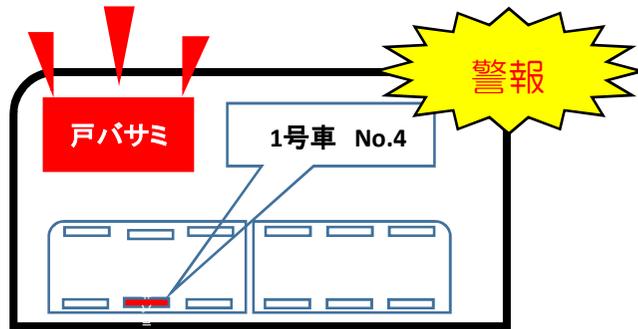
現在の北陸エリアの車両との比較

	現行車両 (七尾線走行車両)	現行車両 (北陸本線走行車両)	新しい車両
	4 1 3系・4 1 5系	5 2 1系 (既存車)	5 2 1系
外観	 <p>写真：415系</p>	 <p>写真：521系3次車</p>	
基本編成	3両	2両	2両
最高運転速度 ※七尾線の線区最高運転速度 は100km/h	4 1 3系：110km/h 4 1 5系：100km/h	120km/h	120km/h
車体構体	鋼製	ステンレス製	ステンレス製
扉数 (1両当たり片側)	4 1 3系：2枚 4 1 5系：3枚	3枚	3枚
主な特徴 ・安全対策 ・サービス機能 など	A T S - S W E B装置	A T S - S W E B装置 車両異常挙動検知装置 ドア誤扱い防止装置 戸閉可変制御 (一部車両) 先頭車間転落防止木口	A T S - S W E B - N装置 車両異常挙動検知装置 ドア誤扱い防止装置 戸閉可変制御 先頭車間転落防止木口 <u>戸挟み検知装置</u> <u>車載型 I C改札機</u>

主な特徴(安全対策) ～戸挟み検知装置～

3

(運転室内)

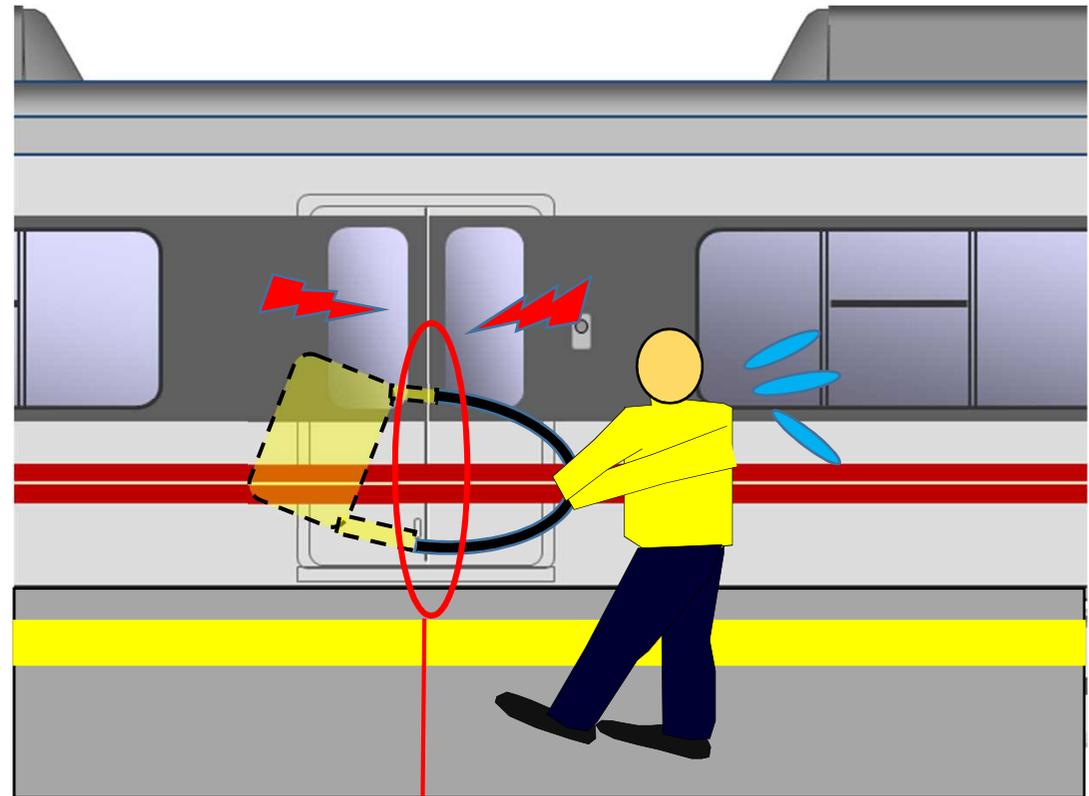


運転台モニタ 表示イメージ

戸挟み発生！
状況確認！！



(ホーム上)



戸先部分の圧力変動を検知、運転室モニタへ伝達

戸挟み状態を車両が検知し、乗務員に警告を行うことで
戸挟み状態での走行を防止する

主な特徴(サービス機能) ～ 車載型IC改札機 ～

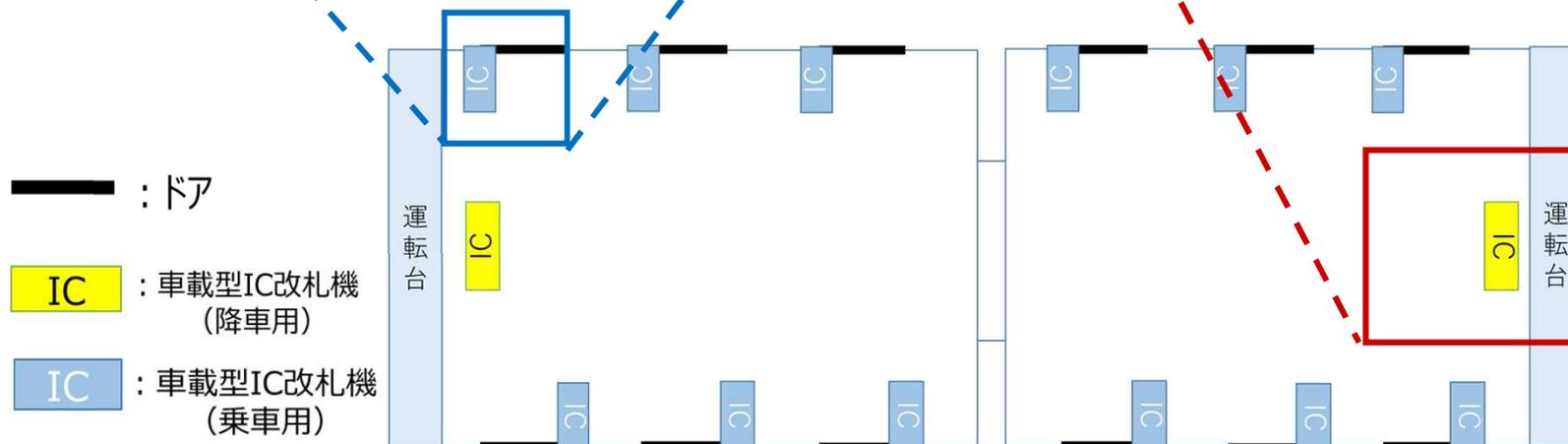


車載型IC改札機
(乗車用)



車載型IC改札機
(降車用)

車内設置イメージ

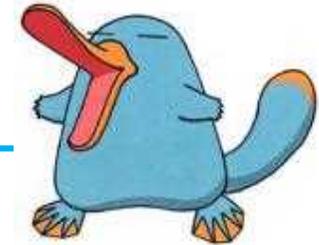


北陸エリアで初めて「車載型IC改札機」を搭載

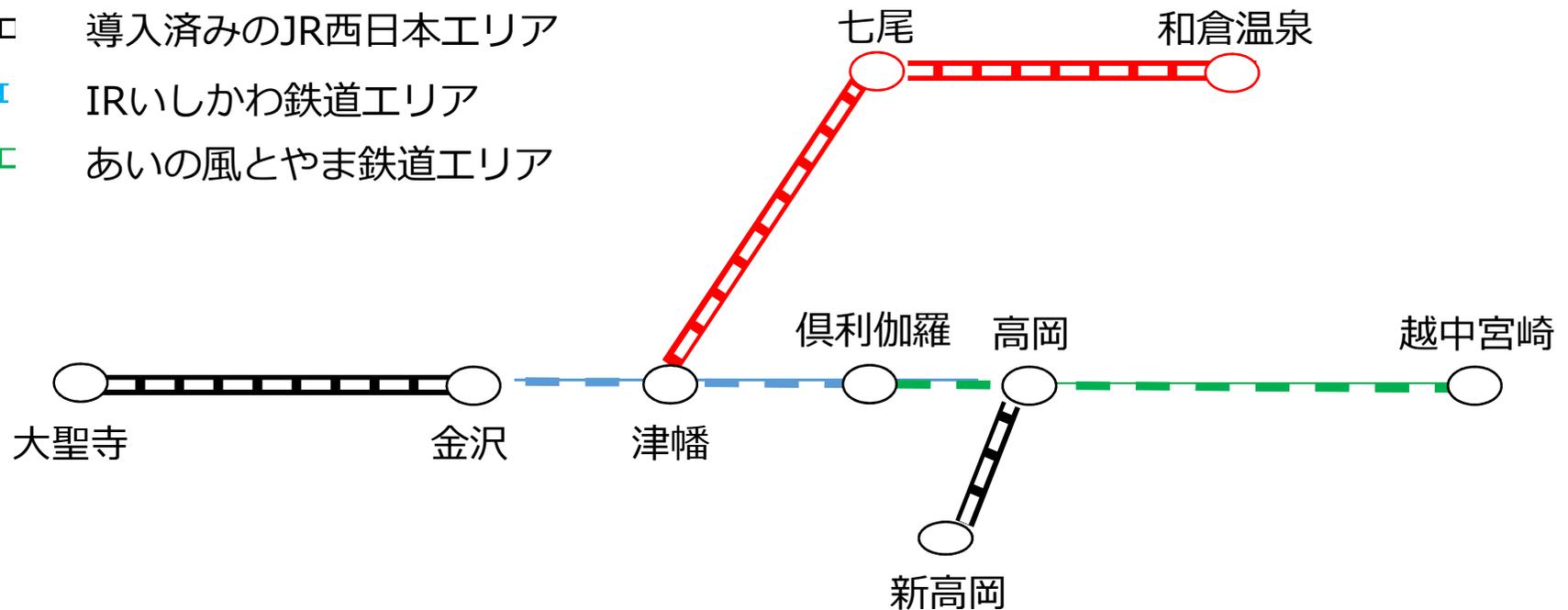
ICOCAサービスについて

5

2021年春に全ての車両が置き換わることにより、七尾線全線がICOCAエリアとなります。



-  今回拡大するエリア（津幡駅はIC専用改札機導入済み）
-  導入済みのJR西日本エリア
-  IRいしかわ鉄道エリア
-  あいの風とやま鉄道エリア



- ※特急停車駅等ご利用の多い駅には、駅に地上型IC専用改札機を設置する予定です。
- ※地上型IC専用改札機の設置駅では、車載型IC改札機は機能を停止し、駅の改札機にタッチしていただくようご案内します。
- ※七尾～和倉温泉駅間の、のと鉄道の普通列車ではICサービスをご利用になれません。

車載型IC改札機のご利用イメージ

6



ICOCAをご利用になる場合は、列車ドア付近の「車載型IC改札機」にタッチしていただきます。

※駅に地上型IC専用改札機を設置している場合は、駅の改札機にタッチいただきます。